



報道関係各位



2021年9月29日
株式会社 ZMP

物流ロボ CarriRo®、連携パートナーとの自動化ソリューション PoC 拠点を開設 —野村不動産「Techrum(テクラム)」に参画。「習志野 PoC Hub」でデモ展示—



株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、物流ロボット CarriRo シリーズで連携するパートナー企業との自動化ソリューションの開発及びデモ展示の拠点を新たに開設しました。野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:松尾 大作、以下野村不動産)が設立した物流に係わる様々な課題解決を目指す企業間共創プログラム「Techrum (テクラム)」に参画し、今後「習志野 PoC Hub」にてソリューションの開発及びデモ展示を行います。

ZMP は、2021 年 2 月にパートナー連携プログラム「CarriRo Connecting Partners」を開始、現在 16 社の企業とともに、自動化ソリューションの実装を進めております。物流 DX が進展する中、多様化する顧客ニーズに対してより迅速に、かつ効果的に自動化ソリューションを提供していくことを目指し、この度「Techrum」に参画しました。

「Techrum」には物流関連技術を持つ企業が参画しており、物流の自動化(省人化・自動化)をはじめとした物流の課題解決にむけたさまざまな効果検証が 2021 年 10 月より可能になります。「Techrum」は、野村不動産「Landport 習志野」内に「習志野 PoC Hub」として開設されます。

現在「習志野 PoC Hub」には、株式会社サトーの RFID システムと CarriRo の連携による無人棚卸ソリューション、株式会社シーイーシーのバース予約管理システム LogiPull®と CarriRo の連携によるトラックからの入出庫作業の自動化ソリューションを展示しております。今後、CarriRo Connecting Partners に参画した企業と本拠点にて様々な物流ソリューションの開発および展示をする予定です。

【Techrum について】 <https://www.nomura-landport.com/techrum/>

野村不動産株式会社が、自動化機器の効率的な活用など物流オペレーションを最適化するため 2021 年 4 月に開始した企業間共創プログラムです。参画企業の連携や組み合わせなどによる課題解決やソリューション開発を同社が運営する物流施設「Landport 習志野」(千葉県習志野市)内の「習志野 PoC Hub」を効果検証拠点として活用し、参画基準にはあえて販路や他企業との連携制限などを設けず、幅広い企業が参画することで荷主や物流企業の様々な課題の解決を目指します。

※物流施設内の自動化機器を活用して物流課題解決を推進する企業間共創プログラム「Techrum (テクラム)」を 2021 年 4 月より開始 <https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2021032301818.pdf>

【習志野 PoC Hub 概要】

所在地:千葉県習志野市茜浜 3-7-2(Landport 習志野 1 階)

交通:JR 京葉線「新習志野」駅より約 3.0 km・東関東自動車道「谷津船橋」IC 約 4.0 km

床面積:2,645 m² ※2022 年 1 月 5,290 m²へ拡張予定

【物流支援ロボット CarriRo シリーズ】

<https://www.zmp.co.jp/carriro/>



物流支援ロボット CarriRo は、ZMP が開発に取り組む自動タクシー®のサービス実証に代表される ZMP の自動運転技術を応用して開発された製品です。少子高齢化の流れにより急速な人手不足となっている物流業界において搬送作業の負荷を軽減し、省人化・効率化を目的として販売を実施しております。現在販売開始から累計約 250 ユーザーの導入実績があり、自律移動による新たな付加価値により物流拠点や工場を始め、ホテルなどのサービス業界と様々な分野に導入が広がっております。



【無人フォークリフト CarriRo Fork について】

無人フォークリフト CarriRo Fork は、ZMP がこれまで自動運転開発で培ってきた、自動運転技術を活用して開発された製品です。フォークリフトのベース車両には、Linde Material Handling 社製の機体を使用しています。フォークの自動運転には、「レーザー誘導型」の方式を採用しており、動作精度±10~20mmを実現しています。これにより、物流倉庫や工場内の搬送作業のパレット搬送を自動化、省人化することが可能になります。簡単なセットアップで作業エリアの事前マッピングから運用開始まで数日で実現できることが特徴で、喫緊の課題となっている労働力不足を軽減し、社会課題の解決に貢献します。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP キャリロ事業部

TEL: 03-5844-6211 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<https://www.zmp.co.jp/>

本社：東京都文京区

代表取締役社長：谷口 恒



RakuRo®



DeliRo®



PATORO®



VacuuRo®



RoboCar®
Mini EV Bus



CarriRo®



CarriRo®Fork

「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ヒトの移動を担う『自動運転車両 RoboCar®シリーズ』、②モノの移動を担う『物流ロボット CarriRo®シリーズ』、③ロボタウン®を実現する『歩行速ロボ®三兄弟』を活用したサービス、また④それらを管理する『ロボットクラウドシステム ROBO-HI®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

日本初の公道走行を実現した DeliRo®、佃・月島でサービス開始した RakuRo®は、「ロボットを社会インフラへ」を目指し、戦略的事業パートナーを募集中です。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。